

2022年度 第1回色材インクジェット部会 開催案内

◆開催趣旨◆

インクジェット技術は、コンシューマからオフィス、商業印刷までの広い用途の印刷技術として活用されてきましたが、近年は、産業用途での活用が盛んに検討されており、新たな市場の創造が繰り返されています。このような背景から、2022年第1回色材インクジェット部会は、インクジェット技術の心臓部とも言えるインクジェットヘッド技術に焦点を置き、主要なインクジェットヘッドメーカーの技術を紹介する場として本講演会を企画致しました。また、当日は、Hewlett-Packard社のアメリカからLiveでご講演頂きます。

最先端のインクジェットヘッド技術、そして、インクジェットヘッドの使用を検討しているシステムインテグレータの技術者の方にとっても最新技術動向を知る絶好の機会です。是非ご参加ください。

なお、今回の講演会の最後にはオーサーズインタビューを設けさせて頂いておりますので、インクジェットヘッドに関わる疑問や技術的な関心、インクジェットの使いこなしに関する質問、業界全体の動向や将来像等に関する質問等、本講演会へのお申込と同時に質問事項の記入を必ず行ってください。

—プログラム—

2022年7月27日(水) 10:00~17:30

新型コロナウイルス感染防止のためZoomによるオンライン開催となります。

10:00~10:45 「Inkjet Theory of Operation and HP's Thermal Inkjet Technology」
Hewlett-Packard Dr. Jim Przybyla

10:45~11:30 「富士フイルムの Customize Inkjet System 導入支援サービス FIIS のご紹介(仮)」
富士フイルム株式会社 福井 隆史

11:30~13:00 — 昼食休憩 —

13:00~14:00 「最新のヘッド位置ずれロバスト性向上技術」
セイコーエプソン株式会社 角谷 繁明

14:00~14:45 「東芝テックのインクジェットヘッド」
東芝テック株式会社 高村 純

14:45~15:00 — 休憩 —

15:00~15:45 「コニカミノルタのインクジェットヘッド — 技術と製品の紹介 — (仮)」
コニカミノルタ株式会社 朝武 敦

15:45~16:30 「リコーの産業用薄膜インクジェットヘッド(仮)」
株式会社リコー 吉田 崇裕

16:30~17:30 「オーサーズインタビュー」
講師の皆様 (Hewlett-Packard 社を除く)

※上記スケジュール(時間、内容、講師)は予告なく変更の可能性があることご了承ください。

[開催日] 令和4年(2022年)7月27日(水) 10:00~17:30

[部会参加費] 色材協会会員、共催学会会員 10,000円

会員外 12,000円

参加費は請求書到着後に①銀行振込②郵便振替のいずれかで講座前日までにご送金ください。

①銀行口座：三菱東京UFJ銀行 恵比寿支店 普通預金No.1547898

②郵便振替口座：00120-7-76423 振込口座名義：シヤ)シキザイキョウカイ

[申込締切日] 7月15日(金) 定員(100名)になり次第受付を終了させていただきます。

[申し込み先] 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-12-8 東京塗料会館201(社)色材協会

TEL:03-3443-2811 FAX:03-3443-3699 E-mail:admin@jscm.or.jp

[申込方法] 以下の参加ポリシーをご理解・ご同意の上、申込書に所定の事項を明記したものを添付し、E-mailにてお申し込みください。

[参加ポリシー] ・受講者は、講座内容の保存(画面キャプチャ含む)、動画・音声の録画・録音を禁止いたします。

・講座へは申し込みした本人のみが参加できるものであり、第三者への開示を禁止いたします。

・受講者は、事前にZoomの動作確認を行い、動作環境などに問題がないことをご確認ください。

上記参加ポリシーに同意した上で、以下の通り申し込みます。

2022年度 第1回色材インクジェット部会申込書

フリガナ

氏名 _____

勤務先 _____ 所属部課名 _____

TEL _____ メールアドレス _____

請求書について 不要 請求書(PDFをメール送信) 請求書(原本を郵送)

請求書宛先 〒 _____

事前質問(必須) _____

受講料 色材協会会員 ¥10,000 共催学会会員 ¥10,000 会員外 ¥12,000

今後開催される色材協会主催の講座についてE-mailでの案内を希望しますか(する・しない)

この個人情報は、色材協会が管理し、色材協会の行事以外には使用しません